

令和元年度 京都大学防災研究所研究発表講演会

DPRI Annual Meeting 2020

2020年2月20日(木)・21日(金)

京都大学宇治キャンパス 宇治おうばくプラザほか(京都府宇治市五ヶ庄)

<https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/hapyo/20/index.html>

上記ページから、口頭発表・ポスター発表の要旨がご覧になれます

入場無料



◆1日目 2月20日(木)

プレナリーセッション YouTubeでリアルタイム配信します きはだホール

9:00 ~ 9:05	開会の言葉
9:05 ~ 9:55	DPRI Award 授賞式・受賞記念講演
10:05 ~ 11:25	特別講演
11:25 ~ 13:50	災害調査報告
13:50 ~ 14:05	拠点間連携共同研究報告
14:05 ~ 14:20	技術支援報告

パラレルセッション A~E会場、ハイブリッドスペース

14:30 ~ 19:00	特別セッション「令和元年に発生した風水害」 口頭発表・ポスター発表
---------------	--------------------------------------

◆2日目 2月21日(金)

パラレルセッション A~E会場、ハイブリッドスペース

9:00 ~ 12:00	口頭発表・ポスター発表
12:00 ~ 14:00	ポスター発表コアタイム
14:00 ~ 17:00	口頭発表・ポスター発表

優秀発表賞授賞式・懇親会 宇治生協会館

18:00 ~ 20:00	優秀発表賞授賞式・懇親会
---------------	--------------

〈主催〉京都大学防災研究所

〈共催〉一般財団法人防災研究協会

〈問合せ〉京都大学宇治地区事務部研究協力課 TEL. 0774-38-3550



京都大学防災研究所

Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

◆1日目 2月20日

9:00 開会の言葉
 所長 橋本 学

DPRI Award 授賞式・受賞記念講演

9:05 DPRI Award 授賞式

9:15 DPRI Award 受賞記念講演
 Prof. Andrew COLLINS [Northumbria University, UK]
 Progress and Prospect for *Action Data* in People Centred Disaster Risk Reduction and Resilience Building

(休憩 9:55 ~ 10:05)

特別講演

10:05 教授 大志万 直人
 思えば遠くへ来たものだ。一観測屋としての七転八倒の 42 年間を振り返る—

10:45 教授 千木良 雅弘
 地質災害から学んだこと

災害調査報告

11:25 准教授 西野 智研
 2019年7月18日に京都アニメーションで発生した火災の分析と建築防災に関する課題

11:50 准教授 佐山 敬洋
 令和元年台風 19 号による洪水災害と降雨流出特性

(休憩 12:15 ~ 13:00)

13:00 准教授 竹林 洋史
 2019年に国内で発生した土石流災害について

13:25 准教授 西嶋 一欽
 なぜ強風被害は減らないのか —2018-2019年の台風被害調査を踏まえた考察—

拠点間連携共同研究報告

13:50 教授 松島 信一
 拠点間連携共同研究の概要とこれまでの成果

技術支援報告

14:05 技術職員 加茂 正人
 ドローンを使用した技術支援

技術職員 米田 格
 マイコンボードを使用した計測システムの開発支援



◆1日目 2月20日

14:30	A01	田中茂信 近年の豪雨の確率評価
14:45	A02	竹見哲也 2019年台風19号による豪雨の発生機構
15:00	A03	◎千木良雅弘・荒井紀之・平田康人・古木宏和 台風19号による土砂災害発生場の特徴と過去の事例との比較
15:15	A04	◎野原大督・角哲也 現業週間アンサンプル予報を用いた事前放流実施時のダム貯水量の回復可能性
15:30	A05	◎川池健司・豊田政史・武田誠・中川一 千曲川破堤による土砂・氾濫災害の再現計算
15:45	A06 ★	◎Sridhara NAYAK・Tetsuya TAKEMI Temporal and Spatial Characteristics of Typhoon Induced Precipitation Over Northern Japan
16:00	A07	◎平石哲也・飯干歩・奥谷哲也 台風19・15号による港湾施設の被害について
16:15		（休憩）

◆ 1 日目 2 月 20 日

16:30 A08 ★ ◎福井信気・森信人・安田誠宏・Andrew KENNEDY・Che-Wei CHANG・千田優・
Zhongduo ZHANG・Andrew COPP・山本剛士
沿岸市街地模型を用いた津波・高潮浸水実験とその数値解析

16:45 A09 ★ ◎森壮太郎・森信人
高潮偏差の将来変化予測のための熱帯低気圧強度の長期評価


17:00 A10 ★ ◎小池宏之進・森信人・Adrean WEBB・志村智也
気候変動による熱帯低気圧及び温帯低気圧の将来変化

17:15 A11 ★ ◎ Tung-Cheng HO・Kenji SATAKE・Shingo WATADA
Tsunami Ray-Tracing Utilizing the Bending Method

17:30 (休憩)

17:45 A12 ★ ◎浦野大介・志村智也・森信人・水田亮
海洋表層混合を考慮した全球大気・波浪・海洋結合モデルの開発

18:00 A13 ★ ◎高木雅史・森信人・二宮順一・志村智也・内山雄介・渡部靖憲・馬場康之・水谷英朗・
久保輝広・大塚淳一・山田朋人・猿渡亜由未
砕破による海洋表層混合のパラメタリゼーションと台風に対する応答

18:15 A14 ★  宮下卓也・森信人
解適合格子法を用いた津波伝播計算

18:30 A15 ★ ◎ Che-Wei CHANG・Nobuhito MORI
Modeling of Coastal Waves and Hydrodynamics in Mangrove Forests

◆1日目 2月20日

14:30	C01	◎ Hao Zhang・Shoji OKADA・Taku FUJIWARA・Kenji KAWAIKE Field Investigation of Stormwater Flows in a Sewerage System and Receiving Stream
14:45	C02 ★	◎菅原快斗・佐山敬洋 線形化したリチャーズ式から得られる新たなフラックス式
15:00	C03 ★	◎山本浩大・佐山敬洋・Apip インドネシアスマトラ島の河川流域における気候変動と土地利用変化が洪水氾濫に及ぼす影響評価
15:15	C04 ★	◎富樫冴佳・佐山敬洋・山田真史 中小河川の非観測区間を対象にした分布型降雨流出氾濫モデルの河道断面推定法
15:30	C05 ★	◎松本紘治・佐山敬洋 アンサンブルカルマンフィルタによる分布型流出モデルの水位データ同化に関する研究
15:45	(休憩)	
16:00	C06 ★	◎山田真史・佐山敬洋・武藤裕花 常呂川流域を対象とした確率的水害リスクの地理的構造の歴史変化に関する分析
16:15	C07 ★	◎ Eva Mia Siska YAMAMOTO・Takahiro SAYAMA・Kodai YAMAMOTO・Apip Comparison of Runoff Generation Methods for Land Use and Climate Change Impact Assessments in the Humid Tropics using SWAT Model
16:30	C08 ★	◎ Sohaib BAIG・Takahiro SAYAMA・Kaoru TAKARA Hydrologic and Snow Melt Modeling of Astore River Basin Under Changing Climate
16:45	C09 ★	◎本間拓貴・堀智晴 豪雨の DAD 関係に基づく多様な洪水シナリオの発生手法
17:00	C10 ★	◎ Suchana ACHARYA・Tomoharu HORI Assessment of Water Availability Under Past, Present and Future landuse with Management Scenarios: A case of Bagmati River Watershed in Kathmandu Valley
17:15	(休憩)	
17:30	C11 ★	◎ Sopal TRY・Shigenobu TANAKA・Kenji TANAKA・Takahiro SAYAMA・Chantha OEURNG Flood Frequency Analysis under Climate Change Effects in the Lower Mekong Basin using d4PDF Dataset
17:45	C12 ★	◎塩尻大也・田中賢治・田中茂信 地下水位変動を考慮した陸面過程モデルの開発
18:00	C13 ★	◎山崎弘美・竹門康弘・高橋真司・兵藤誠・角哲也 大規模出水による中規模河床形態の変化と河道内湧水の生態機能に関する研究

- 18:15 C14 ★ ◎三浦爽・小柴孝太・小林草平・角哲也
小渋ダム上流河道の土砂動態と排砂バイパストンネル分派堰における土砂管理について
- 18:30 C15 ★ ◎Peng An CHEN・Kantoush SAMEH・Tetsuya SUMI
Three-dimensional Numerical Study on the Processes of Turbidity Currents in Shihmen Reservoir, Taiwan
- 18:45 C16 ★ ◎Tahani Al-HARRASI・Sameh A. KANTOUSH・Tetsuya SUMI・Mohamed SABER
Assessment of Reservoir Sedimentation Induced by Extreme Flash Flood at Wadi System : Case Study Assiren Upstream dam,Oman

〈口頭発表〉 大気・水 (3)

C 会場
セミナー室 4・5 (宇治おうばくプラザ 1 階)

◆ 2 日目 2 月 21 日

- 9:00 C17 ★ ◎柳瀬友朗・西澤誠也・三浦裕亮・竹見哲也・富田浩文
湿潤対流の自己集合化の発生に関する新たな臨界長さスケール
- 9:15 C18 ★ ◎塩崎公大・榎本剛・高谷康太郎
El Niño 発生時における冬季極東域の寒暖に対する予測可能性
- 9:30 C19 ★ ◎河野祐哉・西嶋一欽
衛星画像解析と空間統計データを統合した台風による住宅屋根被害の要因分析
- 9:45 C20 ★ ◎Guangdong DUAN・Tetsuya TAKEMI
Turbulent Flow Over Urban Areas of Osaka, Japan -- From Building-Resolving Large-Eddy Simulation Towards the Downscaling of Mesoscale Perturbations
- 10:00 C21 ★ ◎Ying-Hsin WU・Eiichi NAKAKITA
Risk of Rainfall-Triggered Landslide Disasters under Climate Change by Applying Critical Line Method to NHRCM02 and NHRCM05
- 10:15 (休憩)
- 10:30 C22 ★ 中北英一・◎橋本郷志・小坂田ゆかり
気候変動に伴う大気安定化と水蒸気浸潤がゲリラ豪雨の特性に及ぼす影響
- 10:45 C23 ★ ◎小坂田ゆかり・中北英一
偏波レーダー情報を用いた線状対流系の擬似温暖化手法の提案
- 11:00 C24 ★ ◎高見和弥・佐藤亮太・鈴木賢士・山口弘誠・中北英一
XRAIN を用いた冬期の融解層高度の判定に関する検討
- 11:15 C25 ★ ◎Ginaldi A. NUGROHO・Kosei YAMAGUCHI・Eiichi NAKAKITA・Masayuki K.YAMAMOTO
Wavelet Application for Cloud Initial Stage Development Based on Boundary Layer Radar and Himawari-8

(注) 名前の前の◎印は発表者を、発表番号の★印は優秀発表賞の対象であることを示します。

◆ 2 日目 2 月 21 日

9:00	D17 ★	◎ Saroj KARKI・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・Kazuki YAMANOI・Ashok GAUTAM Channel Migration Characteristics in Alluvial Meanders before and after Implementing Bank Protection Structures: A Case Study of Lohandra River in Nepal
9:15	D18 ★	◎野口新之助・山野井一輝・川池健司・中川一 平成 30 年 7 月豪雨災害データを用いた生産土砂量と土砂堆積域予測手法の提案
9:30	D19 ★	◎ Can DING・Kenji KAWAIKE・Hajime NAKAGAWA・Kazuki YAMANOI・Rocky TALCHABHADEL Experimental Investigation of the Influence of Paddy Ridges on Suspended Load Deposition During Inundation
9:45	D20	◎中本英利・竹林洋史・藤田正治 土石流による家屋の全壊・半壊の再現と氾濫特性
10:00	D21	◎山上路生・長坂香織・岡本隆明 土石流の 2 層モデルに関する実験的検証
10:15	(休憩)	
10:30	D22 ★	◎阪本明優 前面に砂丘を有する防潮堤に作用する津波波力に関する検討
10:45	D23 ★	◎ Doan Van BINH・Sameh KANTOUSH・Tetsuya SUMI・Nguyen Phuong MAI・La Vinh TRUNG Quantification of the Effect of River-damming and Sand Mining on Riverbed Incision in the Vietnamese Mekong Delta
11:00	D24 ★	◎ Omar HABIBA・Mohamed SABER・Sameh KANTOUSH・角哲也 Hydrological Modelling of Flash Flood at the UNESCO World Heritage Site Petra, Jordan
11:15	D25 ★	◎ Basil WIETLISBACH・Sameh KANTOUSH・Tetsuya SUMI Impact of River-damming and Sand Mining on Bank Erosion in the Vietnamese Mekong Delta

(注) 名前の前の◎印は発表者を、発表番号の★印は優秀発表賞の対象であることを示します。

◆ 2 日目 2 月 21 日

- | | | |
|-------|------|--|
| 14:00 | B28 | ◎田中賢治・竹門康弘
深泥池水収支モデルの開発と気候変動影響評価 |
| 14:15 | B29 | ◎岡本隆明・染谷智紘・田中健太・山上路生・松本知将
1 ピア橋梁での流木集積と河道閉塞率の定量評価に関する実験的研究 |
| 14:30 | B30 | ◎佐藤嘉展・泉智揮・野原大督・佐山敬洋・角哲也
流域地形と降雨の時空間パターンの組み合わせを考慮した
洪水発生ポテンシャルの評価 |
| 14:45 | B31 | ◎角哲也・岩川岳史・井上素行・佐藤嘉展・竹門康弘
積雪地域における湿地再生が流出特性に与える影響 |
| 15:00 | B32 | ◎竹門康弘・玉川一晃・小林草平・角哲也
木津川の聖牛周辺に形成される一時的たまりの生息場特性 |
| 15:15 | (休憩) | |
| 15:30 | B33 | ◎山野井一輝・大石哲・川池健司・中川一
水・土砂災害予測シミュレーションにおける土砂生産の位置に起因する
不確実性の評価 |
| 15:45 | B34 | ◎馬場康之・久保輝広
観測塔における台風に伴う高波浪条件と台風諸元および
観測データとの関係に関する考察 |
| 16:00 | B35 | ◎吉田聡・中村尚・岡島悟
北太平洋爆弾低気圧活動の長期変化 |

◆ 2 日目 2 月 21 日

14:00	C26	◎志村智也・Mark A. HEMER・Andrew LENTON 波浪依存の運動量フラックスの海洋気候への影響
14:15	C27	◎森信人・志村智也 日本沿岸の極端波浪特性の将来変化について
14:30	C28	◎井口敬雄 衛星観測から導出された XCO ₂ データのバイアスとその地理的変動の分析
14:45	C29	◎丸山敬・劉美智・佐々木寛介・井上実・井口正人・藤田英輔・西村宏昭 噴石模型を用いた噴石の落下性状の観測
15:00	C30	榎本剛 動径基底函数を用いた球面上のセミ・ラグランジュ移流
15:15	(休憩)	
15:30	C31	◎西嶋一欽・大間知誠也・林康太・石倉諒汰・田村守・床波志保・飯田琢也 テーブルトップ風洞実験における圧力計測： 液晶-ナノ粒子複合材料の圧力下での光応答
15:45	C32	◎山口弘誠・千賀幹太・中北英一 都市気象 LES モデルを用いた豪雨の種となる熱的上昇流と渦管の組織化の解明
16:00	C33	◎中北英一・西田悠史・山口弘誠・大石哲 レーダによる大気上層の降水粒子判別と BIN 法による雲物理モデルを用いた降雨強度推定

(注) 名前の前の◎印は発表者を、発表番号の★印は優秀発表賞の対象であることを示します。

◆1日目 2月20日

- | | | | |
|-------|-----|---|---|
| 14:30 | B01 | ★ | ◎Alexandros P. POULIDIS・Tetsuya TAKEMI・Masato IGUCHI
The Role of Atmospheric Vertical Velocity in the Transport and Deposition of Volcanic Ash |
| 14:45 | B02 | ★ | ◎藏原これはる・大西正光・竹林幹雄・井口正人
シミュレーションを用いた大規模噴火による航空輸送への影響推定 |
| 15:00 | B03 | | ◎山田大志・井口正人・藤田英輔
桜島火山での多項目観測による噴煙形成過程についての検討 |
| 15:15 | B04 | | ◎真木雅之・小堀壮彦・西隆昭・藤吉康志・徳島秀彦・佐藤英一・井口正人・為栗健
船舶レーダによる桜島火山の噴煙柱モニタリング - 2018年の観測結果 - |
| 15:30 | B05 | | ◎西隆昭・真木雅之・遠藤寛治・海賀和彦・井口正人
固体化船舶レーダによる桜島噴煙観測 |
| 15:45 | | | 休憩 |
| 16:00 | B06 | | ◎中道治久・桜島火山反復地震探査グループ
2019年桜島人工地震探査の概要 |
| 16:15 | B07 | | ◎為栗健・八木原寛・井口正人
人工地震・近地地震データを用いた始良カルデラの3次元地震波速度構造解析 |
| 16:30 | B08 | | ◎筒井智樹・為栗健・井口正人
始良カルデラ沿岸で観測される人工地震記録の後続相について |
| 16:45 | B09 | | 井口正人
桜島南岳第3活動期の特徴 |
| 17:00 | B10 | ★ | ◎仲井一穂・井口正人
GNSSデータから見出される始良カルデラ周辺における広域上下変動の時空間特性 |
| 17:15 | | | (休憩) |
| 17:30 | B11 | ★ | ◎大柳諒・風間卓仁・山本圭吾・井口正人・岡田和見・大島弘光
繰り返し相対重力観測で明らかになった桜島火山における1990年代以降の重力時空間変化 |
| 17:45 | B12 | | ◎風間卓仁・岡田有生
画像解析技術を用いた可搬型相対重力計の器械傾斜量の把握 |
| 18:00 | B13 | ★ | ◎染井一寛・浅野公之・岩田知孝
震源スペクトルに見られる断層破壊指向性 |
| 18:15 | B14 | ★ | ◎永井夏織・浅野公之・岩田知孝
広帯域強震動シミュレーションに基づく2018年北海道胆振東部地震の震源モデル |
| 18:30 | B15 | | ◎浅野公之・岩田知孝・関口春子
京都府南部における浅部地盤構造推定のための微動アレイ探査 |
| 18:45 | B16 | | ◎岩田知孝・奈良盆地東縁断層帯重点観測グループ
奈良盆地東縁断層帯における重点的な調査観測について (1) |

(注) 名前の前の◎印は発表者を、発表番号の★印は優秀発表賞の対象であることを示します。

◆ 2 日目 2 月 21 日

9:00	A16	★	◎佐脇泰典・伊藤喜宏・太田和晃・澁谷拓郎・岩田知孝 近地深発地震を用いた広帯域レシーバ関数解析によるスロー地震域構造検出
9:15	A17	★	◎ Shukei OHYANAGI・Kazuaki OHTA・Yoshihiro ITO・Ryota HINO・ Yusaku OHTA・Ryosuke AZUMA・Masanao SHINOHARA・Kimihiro MOCHIZUKI・ Toshinori SATO・Yoshio MURAI Spatial Clustering of Triggered Tectonic Tremor and Its Relation to Seismic Structure in the Shallow Japan Trench
9:30	A18	★	◎岡田悠太郎・西村卓也 四国地方における 3 成分 GNSS データを用いた短期的 SSE の検出と その継続期間の推定
9:45	A19	★	◎坂上啓・西村卓也・福田淳一・加藤照之 GNSS データを用いた 1997-2017 年東海地方スロースリップイベントの 時空間発展の推定
10:00	A20	★	◎ Pousali MUKHERJEE・Yoshihiro ITO Comparing the Nature of the Lithosphere in Alternating Regions of Slow Earthquakes in South America
10:15	(休憩)		
10:30	A21	★	◎井上智裕・村本智也・稲津大祐・伊藤喜宏・日野亮太・太田和晃・鈴木秀市 海底圧力記録を用いたニュージーランドヒクランギ沈み込み帯における 海底地殻変動の推定
10:45	A22	★	◎劉弋鋒・伊藤喜宏・太田和晃・片上智史 津波地震の前震および余震活動の時空間的特徴と波形的特徴
11:00	A23	★	◎伊東優治・西村卓也・Kelin WANG・Jiangheng HE 粘弾性緩和と上盤の変形しやすさの不均質分布を考慮した千島沈み込み帯南部の プレート境界の固着分布のモデル化
11:15	A24	★	◎ Yijun ZHANG Rupture Processes of the Foreshocks and the Mainshock and their Correlation with the Seismicity during the Ridgecrest Earthquake Sequence
11:30	A25	★	◎水戸川司・西村卓也 西南日本のブロック間断層におけるメガスラスト地震サイクル中のクーロン応力変化
11:45	A26	★	◎栗原悠宇希・野田博之 伸張性ステップを有する断層の動的破壊シミュレーション： 開口に伴う非 DC 成分の評価

(注) 名前の前の◎印は発表者を、発表番号の★印は優秀発表賞の対象であることを示します。

◆ 2 日目 2 月 21 日

- | | | | |
|---------|-------|-------|--|
| 特別セッション | 9:00 | B17 ★ | ◎島津颯斗・岩田知孝・浅野公之・染井一寛
静岡県の強震観測網を用いた震源特性、伝播経路特性、サイト増幅特性評価 |
| | 9:15 | B18 ★ | ◎福留脩太・浅野公之・岩田知孝
強震波形記録の自己相関関数による地下速度不連続面解析 |
| 大気・水 | 9:30 | B19 ★ | ◎ Jikai SUN・Hiroshi KAWASE・Shinichi MATSUSHIMA・Fumiaki NAGASHIMA
Simulation of Building Damage Distribution in Downtown Mashiki during the Mainshock of the 2016 Kumamoto Earthquake Using the Numerical Modeling of Building Responses |
| 地震・火山 | 9:45 | B20 ★ | ◎ Ting YE・Shinichi MATSUSHIMA
Earthquake Damage Evaluation of the 2018 Eastern Iburi Earthquake Based on Estimated Subsurface Structure by Microtremor Observation at Oiwake, Hayakita and Mukawa |
| | 10:00 | B21 ★ | ◎ Mona IZADI・Shinichi MATSUSHIMA
Estimation of Subsurface S-wave Velocity Structure using Microtremor Array Records in Kumamoto City |
| | 10:15 | (休憩) | |
| 地盤 | 10:30 | B22 | 中山智貴・◎松島信一
邑知潟平野における微動観測記録に基づく推定地盤構造 |
| | 10:45 | B23 ★ | ◎伊藤恵理・川瀬博・Cecile CORNOU・長嶋史明
微動から求めた擬似地震動水平上下スペクトル比を用いたグルノーブル盆地における地盤構造の推定 |
| 総合防災 | 11:00 | B24 | ◎川瀬博・伊藤恵理・仲野健一
強震観測記録からサイト特性を剥ぎ取った地震基盤波形最大値のばらつき評価 |
| | 11:15 | B25 ★ | ◎ Liangjie Qi・Keiichiro KUNITOMO・Masahiro KURATA・Yoshiki IKEDA
Investigation on Two-elevation Integrated Ceiling System Considering Interaction Effect Around Equipment |
| ポスター発表 | 11:30 | B26 ★ | ◎ Jinzhe XIE・Yoshiki IKEDA・Masahiro KURATA
Dynamic Characteristic of Long Two-story Building with Large Atria and Skylights |
| | 11:45 | B27 | ◎池田芳樹・倉田真宏・和田拓也
地震記録に基づく高層鉄骨造建物の固有振動数とモード減衰比の相関性 |

◆ 2 日目 2 月 21 日

14:00	A27	◎岡田成幸・中嶋唯貴・岩崎祥太郎・西嘉山純一郎・松島信一・瀬瀬一起 北海道胆振東部地震の主要被災地における人的被害に関する世帯調査
14:15	A28	齊藤隆志 2016 年熊本地震の崩壊発生の初期過程と振動方向との関係
14:30	A29	◎山田真澄・綿田辰吾・中道治久・Iyan MULIA・KARYONO 2018 年アナク・クラカタウ山体崩壊： 地すべりの運動メカニズムと津波シミュレーション
14:45	A30	◎直井誠・陳友晴・今北啓一 室内水圧破碎実験における微小破壊の震源パラメータ推定
15:00	A34	西村卓也 関東地方に発生する短期的スロースリップイベント
15:15	(休憩)	
15:30	A32	加藤護 なぜ自分は地震を予知できると錯覚する人は絶えないのか？
15:45	A33	飯尾能久 山陰地方の地震活動の謎
16:00	A31	徐培亮 これからの地震学について：I. 大地震の観測
16:15	A35	橋本学 南海トラフ地震への時間予測モデル適用の妥当性
16:30	A36	◎伊藤喜宏・植村美優・Spahr C. WEBB・望月公廣・Stuart HENRYS 海底雑微動と地震波干渉法における時間変化
16:45	A37	藤浩明 津波が作る電磁場について

(注) 名前の前の◎印は発表者を、発表番号の★印は優秀発表賞の対象であることを示します。

◆ 1 日目 2 月 20 日

- | | | |
|-------|-------|---|
| 14:30 | D01 | ◎松浦純生・土井一生・平石哲也・大澤光・柴崎達也・土佐信一
海象現象と海岸地すべりの変位特性 |
| 14:45 | D02 | ◎土井一生・松浦純生・大澤光・柴崎達也・土佐信一
地震時の海岸地すべりの挙動 —北海道南東部の3つの観測サイトにおける事例— |
| 15:00 | D03 | ◎渡邊達也・三浦竜・山崎新太郎・松浦純生
海岸地すべりが大滑動に至るまでの地形変化 |
| 15:15 | D04 ★ | ◎ Jiabo LI・Tetsuya HIRAISHI
Numerical and Physical Experiment on Stability of a New Type Armor Protection Unit in Stormy Wave |
| 15:30 | D05 ★ | ◎ Anurag R. Sahare・Kyohei UEDA・Ryosuke UZUOKA
Performance of Pile Foundations under Lateral Spreading events using Centrifuge and Numerical Analysis |
| 15:45 | (休憩) | |
| 16:00 | D06 ★ | ◎ Chao HUANG・Gonghui WANG
Effect of Non-plastic Fines Content on the Initiation and Movement of Rainfall-induced Landslides in Flume Tests |
| 16:15 | D07 ★ | ◎ Chengrui CHANG・Gonghui WANG
On the Pre-failure Shear Behavior of Clayey Soil: Shear Banding and Corresponding Changeable Physical Precursors |
| 16:30 | D08 ★ | ◎ Baichuan LIU・Gonghui WANG
Role of Halloysite on the Initiation and Movement of Coseismic Landslides Occurring on Pyroclastic Slopes |
| 16:45 | D09 ★ | ◎益子将和・千木良雅弘・鈴木毅彦
関東山地四万十帯地域における山体重力変形 |
| 17:00 | D10 ★ | ◎渡壁卓磨・松四雄騎
土層の形成と輸送シミュレーションに基づいた表層崩壊の再現周期の推定 |
| 17:15 | D11 ★ | ◎ Ruben R. VARGAS・上田恭平・渦岡良介
Validation of Numerical Predictions of Lateral Spreading Based on “Hollow-Cylinder Torsional Shear Tests” and a Large Centrifuge-Models Database |
| 17:30 | (休憩) | |
| 17:45 | D12 ★ | ◎小林凌・渦岡良介・上田恭平
平成 30 年北海道胆振東部地震によって発生した札幌市清田区里塚での谷埋盛土の流動化に関する振動台実験 |
| 18:00 | D13 ★ | ◎ Jiawei XU・Ryosuke UZUOKA・Kyohei UEDA
Physical Modeling of Rainfall in the Geotechnical Centrifuge |

18:15	D14 ★	◎ Tanawat TANGJARUSRITARATORN・宮崎祐輔・澤村康生・岸田潔 Modelling Internal Erosion with the Finite Different Method
18:30	D15 ★	◎権代知輝・ピパットボンサーティラポン・北岡貴文・大津宏康 沈下形状に伴う盛土内アーチ作用に関する動的模型実験
18:45	D16 ★	◎ Krit AROONWATTANASKUL・中川裕基・Thirapong PIPATPONGSA・北岡貴文・大津宏康 Effect of Side Frictions in a Centrifuge Model of Slope Sliding Along a Bedding Plane

〈口頭発表〉 地盤 (2)	D 会場 セミナー室 (木質ホール3階)
---------------	-------------------------

◆ 2日目 2月21日

14:00	D26	山崎新太郎 平成30年7月豪雨による愛媛県宇和島市周辺の岩盤崩壊の発生場について
14:15	D27	◎ Fangxin HE・Yan TIAN・Atsushi TAKAI・Katsumi TAKESHI・Go ARAKI Effect of Cement Addition on Arsenic Sorption of Soil-bentonite Cutoff Walls
14:30	D28	松四雄騎 斜面崩壊の形状分析と発生場予測における航空レーザー測量データの利用
14:45	D29	◎坂本俊・釜井俊孝・古川匠 城郭石垣診断法の開発
15:00	(休憩)	
15:15	D30	◎王功輝・馬寧・土井一生・古谷元・渡部直喜・石丸聡・小安浩理・蔡飛・内村太郎・木村誇 2018年北海道胆振東部地震域の斜面における微動と余震観測による斜面の震動特性
15:30	D31	◎古谷元・王功輝・渡部直喜・石丸聡・小安浩理・蔡飛・内村太郎・木村誇 北海道厚真町吉野の火山砕屑物斜面における地下水動態観測
15:45	D32	◎小安浩理・石丸聡・王功輝・古谷元・渡部直喜・蔡飛・内村太郎・木村誇 平成30年北海道胆振東部地震による地すべりにおけるすべり層の地質的・土質的特徴
16:00	D33	◎ Xiaobo LI・Jingshan BO・Issei DOI・Gonghui WANG・Toshitaka KAMAI Microtremor Survey And Spectral Analysis of a Coseismic Landslide: a Case Study in Subao Village, Ningxia, China
16:15	D34	◎渡部直喜・王功輝・古谷元 着色された軽石層にみる水文地質学的制約要因 ―北海道胆振東部の例―

(注) 名前の前の◎印は発表者を、発表番号の★印は優秀発表賞の対象であることを示します。

特別セッション
大気・水
地震・火山
地盤
総合防災
ポスター発表

◆ 1 日目 2 月 20 日

- | | | | |
|---------|-----|---|---|
| 14 : 30 | E01 | ★ | ◎ Audrius SABŪNAS・森信人・福井信気
The Long-term Assessment of Storm Surge Impact on Viti Levu Island, Fiji |
| 14 : 45 | E02 | ★ | Zhou YUEDU
Climate Change Adaptation for protecting the storm surge impact: Seawall and River Gate Adjustment in Osaka Bay |
| 15 : 00 | E03 | ★ | ◎ Steven LY・Takahiro SAYAMA・Kaoru TAKARA
Hydrologic Characteristics and Modeling of the Tonle Sap Sub-basins |
| 15 : 15 | E04 | ★ | ◎ Lexin LIN・Ana Maria CRUZ
Natech Risk Information Disclosure: A Survey of Public Risk Perception, Risk Communication, and Trust in Japan |
| 15 : 30 | E05 | ★ | ◎ Dimitrios TZIOUTZIOS・Ana Maria CRUZ
Categorising the Communicative Behaviour of Publics for Natech Risk Information Disclosure |
| 15 : 45 | E06 | ★ | ◎ Xiaolong, LUO・Ana Maria CRUZ
Natech Events Caused by Tropical Storms in the United States from 1990 to 2017: Analysis of Spatial-temporal Variation |
| 16 : 00 | | | (休憩) |
| 16 : 15 | E07 | ★ | ◎松原悠・矢守克也・畑山満則・大西正光
中京圏における道路復旧優先順位の検討
—生活復旧と経済復旧の両立を目指して— |
| 16 : 30 | E08 | ★ | 小川雅史
日系グローバルサプライチェーンのセミマクロな構造変化の視覚化と
リスク分析への援用の試み |
| 16 : 45 | E09 | ★ | ◎ Huan LIU・Hirokazu TATANO・Yoshio KAJITANI
Estimating Lifeline Resilience Factors Using Post-Disaster Business Recovery Data |
| 17 : 00 | E10 | ★ | Si HA
Fragility Curves for Economic Losses in Industrial Sectors after Strong Wind
Disaster: a Case of 2018 Typhoon Jebi |
| 17 : 15 | E11 | | ◎ Subhajyoti SAMADDAR・Hirokazu TATANO
Implementation Challenges of Disaster Risk Reduction Strategies: Voices from the
Fields of Water Salinity Communities in Bangladesh |
| 17 : 30 | E12 | | ◎下戸学・大鶴繁・趙晃済・堤貴彦・庵原美香・樋口浩和・相田伸二・杉山治・鈴木教雄・
倉田真宏・牧紀男
地域医療 BCP 連携研究分野が取り組む災害・健康危機管理研究の国際的枠組みと
重点領域 |
| 17 : 45 | E13 | | 矢守克也
オープンサイエンスとしての防災・減災学 |

(注) 名前の前の◎印は発表者を、発表番号の★印は優秀発表賞の対象であることを示します。

◆ 2 日目 2 月 21 日

9:00	E14 ★	◎杉山高志・矢守克也 要配慮者の潜在的能力を活かした防災訓練についての一考察
9:15	E15 ★	河越基 災害情報システムの効果的な実装手法に関する研究
9:30	E16 ★	◎上山遥路・畑山満則・山内英之・吉田信明 自主避難のための地域コミュニティで運用できる 土砂災害関連情報 IoT 計測システム
9:45	E17 ★	◎ Ziyang LIU・Masamitsu ONISHI・Masato IGUCHI・Mikio TAKEBAYASHI Timeline for Aviation Management with Precursory Signs of a Large-scale Eruption
10:00	E18 ★	李フシン アニメの聖地巡礼と災害支援 一茨城県大洗町の「ガルパン」文化を事例に一
10:15	E19	◎本多郁・畑山満則 上町断層帯地震を想定した徒歩帰宅者誘導計画に関する一考察
10:30	(休憩)	
10:45	E20	◎鈴木佐代・友清衣利子・蔵原正敏・丸山敬・矢守克也 教育現場での防災教育プログラムの実践と導入への課題
11:00	E21	◎中野元太・矢守克也・宮下卓也・ウラルイサ・マスエリック・越村俊一 津波浸水シミュレーションを活用した多様なシナリオの避難訓練 —メキシコ・シワタネホの小学校での実践—
11:15	E22	Yang YONGSHENG Societal Impact Evaluation of Infrastructure Disruption
11:30	E23	◎ Emmanuel GARNIER・Florence LAHOURNAT Historical Perspectives on Disaster Memory - the Case of Lake Biwa
11:45	E24	◎横松宗太・小川芳樹・秋山祐樹・関本義秀 災害後の多部門経済市場の動的過程の数値解析

特別セッション

大気・水

地震・火山

地盤

総合防災

ポスター発表

◆ 2 日目 2 月 21 日

- | | | |
|-------|-----|---|
| 14:00 | E25 | ◎長嶋史明・川瀬博
拡散波動場理論に基づく 2018 年大阪地震の地震基盤入射波の推定 |
| 14:15 | E26 | ◎佐山敬洋・井口真生子・清水涼太郎・南良忠・寶馨
現地情報を活用したリアルタイムの浸水マッピングに関する研究 |
| 14:30 | E27 | ◎ Shizue IZUMI・Michinori HATAYAMA
Utilization of Large-scale Disaster Prevention Data in Data Science Education and Research |
| 14:45 | E28 | ◎竹之内健介・本間基寛・矢守克也・鈴木靖
災害の素振り・振り返りのための疑似リアルタイム訓練ツールの開発 |
| 15:00 | E29 | ◎古橋大地・畑山満則
自治体とのドローンに関する災害協定の実効性と課題 |
| 15:15 | E30 | 畑山満則
災害時の意思決定支援を想定した並行時空管理に関する考察 |

特別セッション

大気・水

地震・火山

地盤

総合防災

ポスター発表

ポスター発表

ポスター会場
ハイブリッドスペース（宇治おうぼくプラザ 2 階）

展 示 1 日目 9:00 ~ 19:00・2 日目 9:00 ~ 15:00
 コアタイム 2 日目 12:00 ~ 14:00

P1 ★	◎福井宏和・松四雄騎 テフラの風化によるハロイサイト高含有層の形成機構：北海道胆振東部厚真町を例に
P2	◎木村諤・王功輝・土井一生・石丸聡・小安浩理・古谷元・渡部直喜・蔡飛・内村太郎 光学衛星画像と航空レーザ測量データを用いた平成 30 年北海道胆振東部地震による崩壊地の空間分布解析
P3	◎ Bin ZHU・Tetsuya HIRAISHI・Qing YANG Probability Analysis of Submarine Slope Stability with Consideration of the Spatial Variability of Sediment Strength
P4	◎岡本隆・松浦純生・大澤光・竹内由香里・平島寛行・柴崎達也 地すべりの安定性に及ぼす積雪層の力学的影響評価
P5 ★	◎太田義将・松四雄騎・松崎浩之 隆起速度の増加に対する流域地形の過渡的応答： 六甲山地を例とした地形発達の定量的モデリングとその検証
P6	◎荒井紀之・千木良雅弘・土井一生 重力変形斜面の降雨・地震時挙動の観測
P7 ★	菊池美帆 熱水変質作用を受けた砂岩の化学・物理的風化メカニズム： 水理・力学的な物性変化からの考察
P8 ★	◎太田凌嘉・松四雄騎・松崎浩之 過度な森林資源の収奪を受けた山地流域における削剥履歴の復元： 宇宙線生成核種による定量的評価
P9	◎五十嵐晃・澤田純男・加藤滉大 逆変位接続機構を用いた制振手法の提案
P10	◎地元孝輔・津野靖士・山中浩明・松島信一・川瀬博・高井伸雄・神野達夫・佐藤浩章・重藤迪子・是永将宏・山田伸之・三宅弘恵・瀨瀬一起・浅野公之・岩田知孝 ESG6 ブラインド予測サイトの地震記録と地盤調査
P11 ★	◎金木俊也・大橋聖和・廣野哲朗・野田博之 回転剪断摩擦実験による模擬断層ガウジの機械的非晶質化
P12	◎澤田純男・奥村与志弘・浅野晃太 様々な要因に着目した大阪府北部地震の被害分布についての考察
P13	◎上林宏敏・関口春子 平成 30 年大阪府北部の地震による大阪平野における P, SV, SH 波動場

特別セッション

大気・水

地震・火山

地盤

総合防災

ポスター発表

(注) 名前の前の◎印は発表者を、発表番号の★印は優秀発表賞の対象であることを示します。

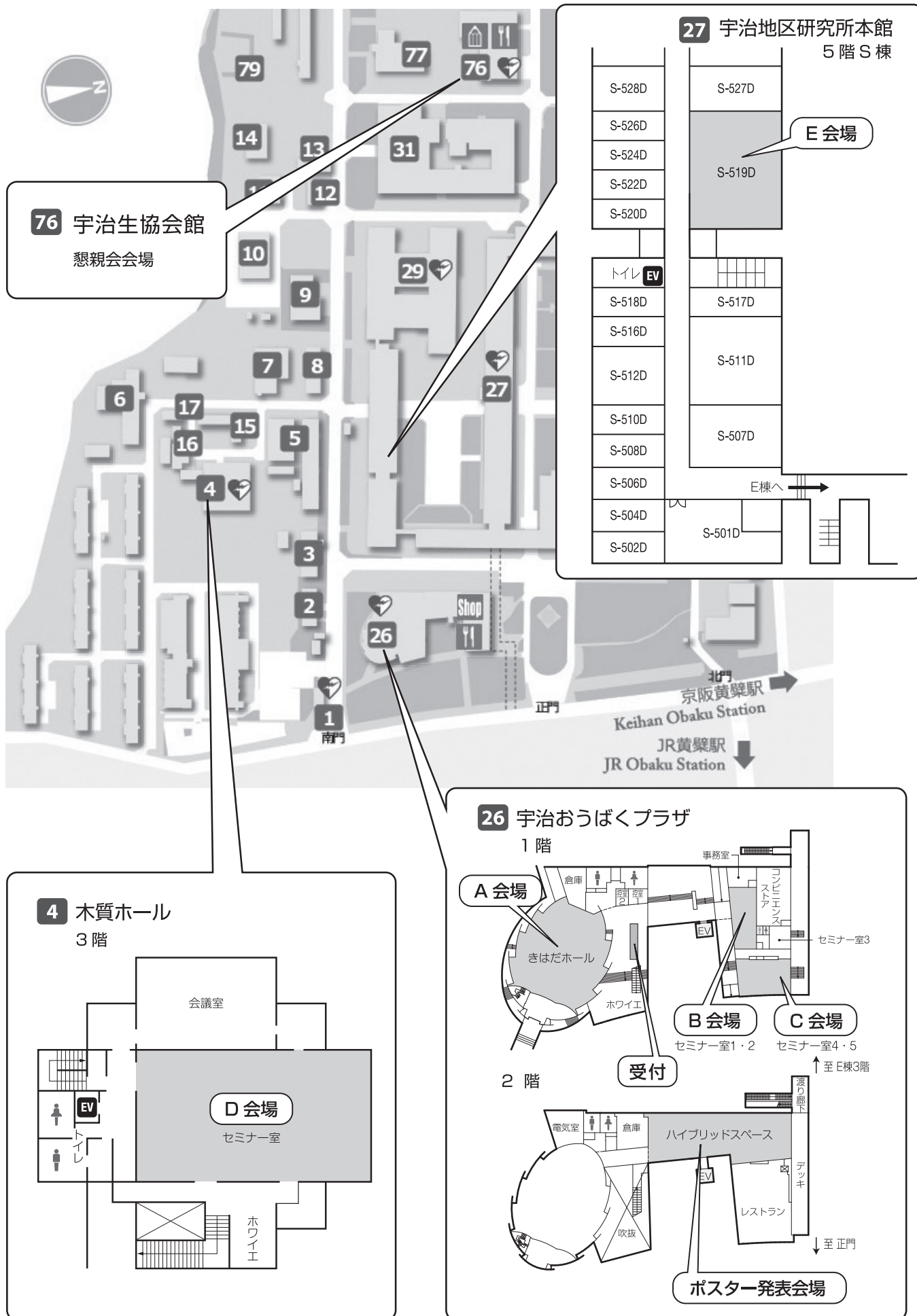
- P14 ★ 仲野健一
スペクトルインバージョンに基づく強震動予測手法に関する研究
- P15 ★ ◎栗間淳・澤田純男・後藤浩之
液状化時パイピング現象の解析の実現に向けて ～飽和土3相モデルの運動方程式～
- P16 ★ ◎大武亮太・後藤浩之・澤田純男
深層学習を用いた周辺の観測記録に基づくリアルタイム震度推定手法の開発
- P17 ★ ◎増田竣介・Pierre GEHL・松島信一
高知県南国市における南海トラフ地震による水道管網被害の病院機能への影響評価
- P18 ★ ◎田中裕貴・後藤浩之・澤田純男
V字型の盆地端部構造による地震動増幅特性の数値解析的検討
- P19 ★ ◎鈴木健士・吉村令慧・山崎健一・大志万直人
非常に高い接触抵抗を持つ乾燥岩石の抵抗測定手法の開発
- P20 ★ ◎木内亮太・Walter D. MOONEY・Hani M. ZAHRAN
サウジアラビアにおける地震動予測式の開発
- P21 ◎吉村令慧・隠岐颯太・齋藤健留・米田匡宏・石川尚人・加茂正人
宇治川 OL 敷地内の磁気異常 ―市販ドローンを利用した空中磁気測量―
- P22 ◎山本圭吾・松島健・吉川慎・井上寛之・園田忠臣・山田大志・唐懌塵・吉永光樹・池亀孝光・岸本博志・大倉敬宏
精密水準測量による桜島火山の地盤上下変動（2018年11月～2019年11月）
- P23 ★ ◎瀧下恒星・井口正人・Alexandros-Panagiotis POULIDIS・園田忠臣
落下速度観測による桜島ブルカノ式噴火の降下火山灰の噴煙分離高度分布推定の試み
- P24 ★ ◎Tha Zin Htet TIN・Takuya NISHIMURA・Manabu HASHIMOTO・Eric LINDSEY・Myo THANT
Preliminary Study of Geodetic Measurement for Crustal Deformation in Myanmar
- P25 ★ ◎Emmanuel Soliman M. GARCIA・Yoshihiro ITO・Tomohiro INOUE
Variability in Seafloor Pressure from Ocean Circulation at the Mexico Subduction Zone offshore Guerrero from Simulations and In Situ Data
- P26 ★ ◎森祐太郎・深畑幸俊
3次元的な構造を考慮したプレート沈み込みによる島弧形成の数値シミュレーション
- P27 ◎澁谷拓郎・中川潤・長岡愛理・三浦勉・山下裕亮・山崎健一・小松信太郎
南海トラフ巨大地震の予測高度化を目指した地震学的構造研究：四国地域（1）
- P28 ★ ◎Tomoaki NISHIKAWA・Takuya NISHIMURA
Semi-realtime Monitoring of Seismicity Anomaly Around Japan Using the ETAS Model
- P29 ◎野田博之・栗原悠宇希・佐藤大祐
境界積分方程式法による動的破壊の計算に用いる二つの時間発展法の比較

（注）名前の前の◎印は発表者を、発表番号の★印は優秀発表賞の対象であることを示します。

P30 ★	◎ Raymundo PLATA-MARTINEZ · Satoshi IDE · Naoto MIZUNO · Akiko TOH · Masanao SHINOHARA · Tomoaki YAMADA · Allen L HUSKER · Jorge Arturo REAL · Victor M CRUZ-ATIENZA · Yusuke YAMASHITA · Yoshihiro ITO First Detection of Shallow Tremors at the Guerrero Gap, Mexico.
P31	◎石川尚人・吉村令慧・Tesfaye KIDANE・東野伸一郎・加々島慎一・Ameha A. MULUNEH・北川桐香・藤井昌和・角屋守・岩本光弘・望月伸竜・乙藤洋一郎・小木曾哲・船木實 エチオピア・アフール凹地、海洋底拡大軸域での地球電磁気学的探査（その2）
P32 ★	 藤田萌実・◎西村卓也・平原和郎・兵藤守・宮崎真一 GNSS データを用いたアンサンブルカルマンフィルタによる豊後水道長期的 SSE のすべり発展推定
P33 ★	◎片上智史・Yoshihiro KANEKO・伊藤喜宏・荒木英一郎 浅部スローリップの応力応答性
P34	永江航也・◎片尾浩・加藤護・飯尾能久 稠密地震観測で見る 2018 年大阪府北部の地震の余震分布：一元化震源との比較（序報）
P35 ★	◎加藤慎也・飯尾能久・片尾浩・澤田麻沙代・富阪和秀 近畿地方中北部におけるコーダ波減衰の推定
P36 ★	◎ Atikul Haque FARAZI Stability of HVSR Spectra Obtained from Ocean Bottom Seismometers (OBS) Near the Japan Trench
P37 ★	◎藤田翔乃・畑山満則 航空写真を用いた深層学習による地震災害時の屋根損傷家屋の把握
P38 ★	◎平子遼・畑山満則 浸水想定区域図作成・更新における問題点の抽出
P39	◎有吉慶介・美山透・脇田昌英・内田裕・木元克典・中野善之・藤原周・永野憲・長谷川拓也・西田周平・町田祐弥・宮澤泰正・桑谷立・藤田実季子・川合義美・青池寛・吉田聡・市川香・酒見亮佑・油布圭・藤垂希子 海洋観測データの統合解析
P40	◎ Kosei KOMATSU · Akira YOSHIDA · Keisuke ARIYOSHI An Integrated Observation System from the Ocean Bottom to the Atmosphere to Study Air-Sea Interaction in the Kuroshio Region South of Shionomisaki
P41	佐々木寛介 ドローンによる上空気象観測手法の開発（基礎的検討結果）
P42	◎堀口光章・竹見哲也 京都市近郊における大気境界層乱流 —2019 年秋季における観測事例—
P43 ★	小笠原宏司 局所細密化節点による低気圧を模した渦の再現性

(注) 名前の前の◎印は発表者を、発表番号の★印は優秀発表賞の対象であることを示します。

-
- P45 ★ ◎平岡ちひろ・田中賢治・田中茂信
キルギス共和国の氷河における積雪水量とアルベドの解析
-
- P46 ★ ◎ Maochuan HU・Kenji TANAKA・Takahiro SAYAMA
Impact of Climate Change and Reservoir Operation on Discharge in the Kiso River Basin
-
- P47 ★ ◎ Rocky TALCHABHADEL・Rajaram PRAJAPATI・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・Kazuki YAMANOI・Jeffrey Colin DAVIDS
Citizen Science Can Provide Valuable and Complementary Information in Water Resources Management: A Case Study of Urban Flood Assessment in Hanumante River Basin, Nepal
-
- P48 ◎竹林洋史・小野山賢介・藤田正治
有明海・太良町に形成された潮汐蛇行の形成機構
-
- P49 ★ ◎ Dina ELLEITHY・Sameh KANTOUSH・角哲也
New Approach Based on Image Processing Techniques for Water Level Measurements in the Field and Laboratory Applications
-
- P50 ★ ◎日野智之・田中賢治・田中茂信
ダム流入量予測に向けた海面水温の解析
-
- P51 小林草平
2019年台風19号時における小渋・美和ダムの流況と排砂バイパス運用
-
- P52 ★ ◎鈴木豪太・藤田正治・山野井一輝
SiMHISの土砂災害に対する地区防災活動への活用
-
- P53 ◎藤田正治・竹林洋史・宮田秀介・山野井一輝・堤大三・坂井紀之・小林正直
2019年8月焼岳白水谷・黒谷で発生した土石流および土砂流出
-
- P54 ◎戸田圭一・野村詩織・石垣泰輔
水防災教育教材の開発とその活用
-
- P55 ◎宮田秀介・Michael ENGEL・Velio COVIELLO・Gianluca VIGNOLI・Andrea ANDREOLI・Ricardo CARRILLO・Rudi NADALET・Francesco COMITI・藤田正治
氷河起源の山岳流域における超高濃度の土砂流出
-
- P56 ★ ◎石川新・竹林洋史・藤田正治
2018年9月に厚真町で発生した泥流の流動特性
-
- P57 ★ ◎ Herman MUSUMARI・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・Kazuki YAMANOI・Rocky TALCHABHADEL
Application of Random Walk Model and Deterministic Debris Flow Routing in the Assessment of Sediment Yield in a Catchment Scale.
-



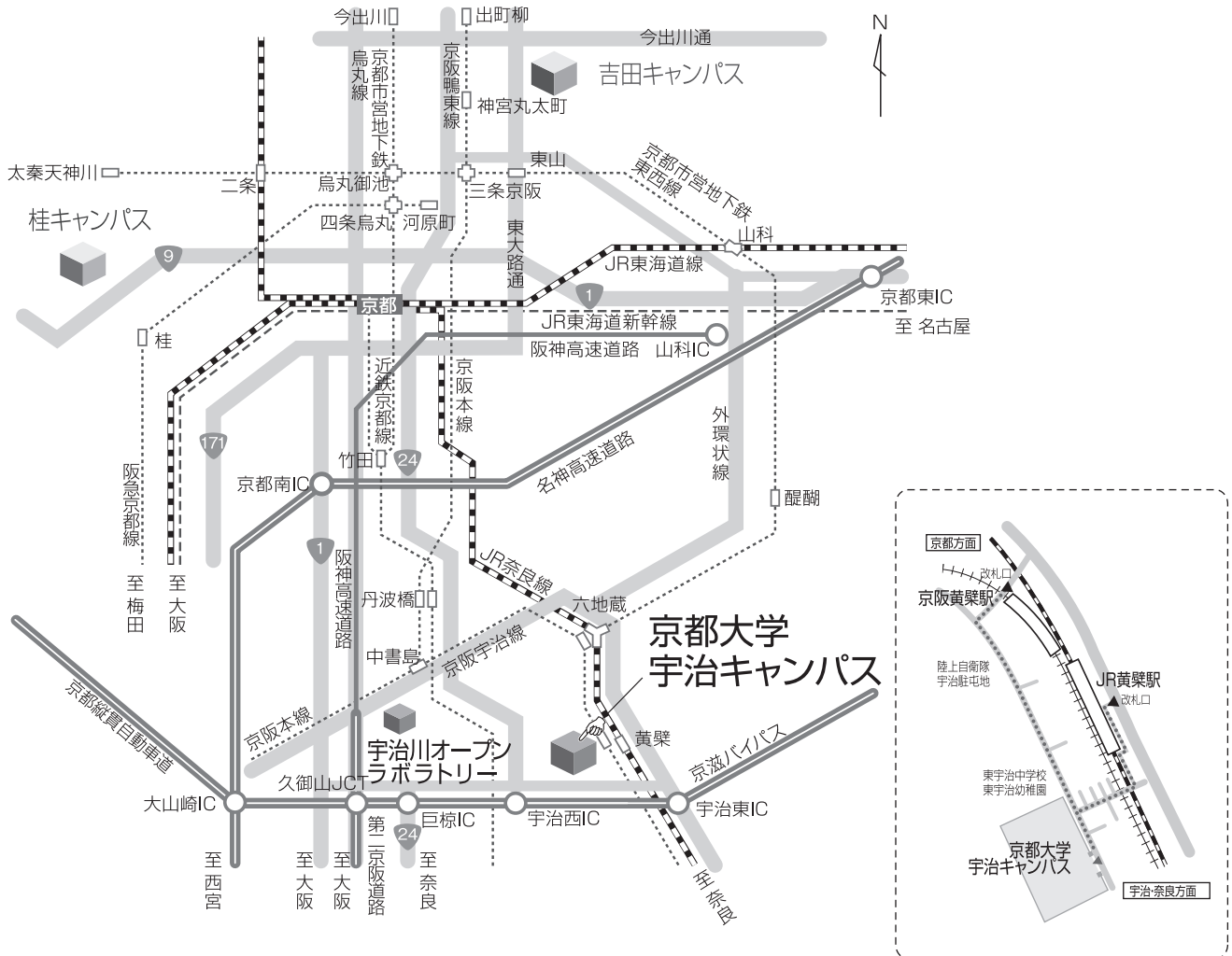
〈発表番号・会場一覧〉 ◆ 1日 2月20日

9:00~14:20		プレナリーセッション 会場・きはだホール(宇治おうばくプラザ1階) p.2				ポスター発表
口頭発表						
A会場 きはだホール (宇治おうばくプラザ1階)	B会場 セミナー室1・2 (宇治おうばくプラザ1階)	C会場 セミナー室4・5 (宇治おうばくプラザ1階)	D会場 セミナー室 (木質ホール3階)	E会場 S519D 大会議室 (宇治本館5階S棟)		
特別セッション p.3 大気・水(1) p.4	地震・火山(1) p.10	大気・水(2) p.5-6	地盤(1) p.14-15	総合防災(1) p.16		
14:30~14:45	A01	B01	C01	D01	E01	ポスター発表 p.19-22 P01-P57
14:45~15:00	A02	B02	C02	D02	E02	
15:00~15:15	A03	B03	C03	D03	E03	
15:15~15:30	A04	B04	C04	D04	E04	
15:30~15:45	A05	B05	C05	D05	E05	
15:45~16:00	A06	(休憩)	(休憩)	(休憩)	E06	
16:00~16:15	A07	B06	C06	D06	(休憩)	
16:15~16:30	(休憩)	B07	C07	D07	E07	
16:30~16:45	A08	B08	C08	D08	E08	
16:45~17:00	A09	B09	C09	D09	E09	
17:00~17:15	A10	B10	C10	D10	E10	
17:15~17:30	A11	(休憩)	(休憩)	D11	E11	
17:30~17:45	(休憩)	B11	C11	(休憩)	E12	
17:45~18:00	A12	B12	C12	D12	E13	
18:00~18:15	A13	B13	C13	D13		
18:15~18:30	A14	B14	C14	D14		
18:30~18:45	A15	B15	C15	D15		
18:45~19:00		B16	C16	D16		

〈発表番号・会場一覧〉 ◆ 2日 2月21日

口頭発表						ポスター発表
	A 会場 きはだホール (宇治おうばくプラザ1階)	B 会場 セミナー室1・2 (宇治おうばくプラザ1階)	C 会場 セミナー室4・5 (宇治おうばくプラザ1階)	D 会場 セミナー室 (木質ホール3階)	E 会場 S519D 大会議室 (宇治本館5階S棟)	ポスター発表 ハイブリッドスペース (宇治おうばくプラザ2階)
9:00~9:15	A16	地震・火山(3) p.12	大気・水(3) p.6	大気・水(4) p.7	総合防災(2) p.17	ポスター発表 p.19-22 P01-P57
9:15~9:30	A17	B17	C17	D17	E14	
9:30~9:45	A18	B18	C18	D18	E15	
9:45~10:00	A19	B19	C19	D19	E16	
10:00~10:15	A20	B20	C20	D20	E17	
10:15~10:30	(休憩)	B21	C21	D21	E18	
10:30~10:45	A21	(休憩)	(休憩)	(休憩)	E19	
10:45~11:00	A22	B22	C22	D22	(休憩)	
11:00~11:15	A23	B23	C23	D23	E20	
11:15~11:30	A24	B24	C24	D24	E21	
11:30~11:45	A25	B25	C25	D25	E22	
11:45~12:00	A26	B26			E23	
		B27			E24	
12:00~14:00	ポスター発表コアタイム 会場・ハイブリッドスペース(宇治おうばくプラザ2階) p.19-22					
	地震・火山(4) p.13	大気・水(5) p.8	大気・水(6) p.9	地盤(2) p.15	総合防災(3) p.18	ポスター発表 p.19-22 P01-P57 (ポスター撤去)
14:00~14:15	A27	B28	C26	D26	E25	
14:15~14:30	A28	B29	C27	D27	E26	
14:30~14:45	A29	B30	C28	D28	E27	
14:45~15:00	A30	B31	C29	D29	E28	
15:00~15:15	A34	B32	C30	(休憩)	E29	
15:15~15:30	(休憩)	(休憩)	(休憩)	D30	E30	
15:30~15:45	A32	B33	C31	D31		
15:45~16:00	A33	B34	C32	D32		
16:00~16:15	A31	B35	C33	D33		
16:15~16:30	A35			D34		
16:30~16:45	A36					
16:45~17:00	A37					
18:00~20:00	優秀発表賞授与式・懇親会 会場・宇治生協食堂(宇治生協会館1階) p.26					

会場へのアクセス



優秀発表賞授賞式・懇親会のご案内

日時：2020年2月21日（金） 18：00～20：00

場所：宇治生協会館（p.23 会場案内図参照）

[教職員・学生の皆さまへ] 懇親会の会場への入場には、チケットが必要です。忘れずにご持参ください。

[問合先] 京都大学防災研究所 広報出版企画室

0774 (38) 4640 E-mail: dpri-ksk@dpri-kyoto-u.ac.jp